

# 安全週間メッセージ



令和3年6月1日  
岡崎労働基準監督署西尾支署  
支署長 堀口健一

初夏の候、西尾労働基準協会会員の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、会員の皆様には、日頃より職場の安全衛生水準向上のため、様々な安全衛生活動を展開しておられますことに深く敬意を表す共に労働安全衛生行政を推進する者として感謝申し上げます。

さて、当署管内における令和2年の労働災害については、死亡者数は3名、休業4日以上死傷者数は163名であり、前年に比べ、死亡者数は2名増加し、休業4日以上死傷者数は27.3%増という結果となりました。

このうち、60歳以上の高年齢労働者の労働災害は42件発生しており、前年に比べ9件増加し、全体の労働災害発生件数の約26%を占めている状態となっています。

会員の皆様のご尽力の下、安全衛生水準は着実に向上していますが、多くの労働災害が発生している現状となっています。このため、引き続き、各種取組を強化していただき、労働災害の減少を図るようお願いいたします。

令和3年度の全国安全週間は、7月1日から7月7日までの期間、全国で開催されますが、「人命尊重」という基本理念及び産業界における「自主的な労働災害防止活動の推進」と「安全意識の高揚と安全活動の定着」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で94回目を迎えます。

本年度のスローガンは、働く高年齢労働者の増加による就業構造の変化に伴う労働災害の増加や新型コロナウイルス感染症拡大に伴う社会情勢の変化等に対応し、将来においてもすべての労働者が安心して安全に働くことができるよう職場環境の実現を目指すことの必要性から『持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場』がスローガンとなっています。

労働災害を防止するためには、危なさと共に共存していることを認識する必要があり、愛知労働局及び当支署において「危なさに向きあおう」をキャッチフレーズに、作業に関わる危なさを整理し、管理下に置くことを提唱し、その具体的な手法としてリスクアセスメントの理解促進を継続して進めているところです。

本年度は、愛知労働局において「愛知労働局リスクアセスメント推進事業場宣言」を創設し、リスクアセスメントに対する事業場の積極的な取組みを一層推進することにより、安全衛生水準の向上を図ってまいります。

また、働く高年齢労働者の増加に伴う労働災害の増加傾向を防止するため、「高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン)に基づく、取組もお願いします。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、日本経済はかつてない試練に立たされており、職場における新型コロナウイルス感染症拡大を防止することは、この試練を乗り越えることに寄与するものであります。

職場における新型コロナウイルス感染症の大規模な感染症拡大を防止するためには、事業者、労働者それぞれが、職場内外での感染防止行動の徹底について正しく知識を持って、職場や職務の実態に即した対策に取り組んでいただくことが必要であり、引き続き、「職場における新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するためのチェックリスト」、「取組の5つのポイント」をご活用して、確認していただければと思います。

職場における労働者の安全と健康の確保は、どんな状況にあっても、事業者の責務として最優先に取り組まなければならない事項です。

このことから、会員の皆様方におかれましては、経営トップのリーダーシップのもと、一人ひとりが安全衛生意識を高く持ち、労使が一体となって、労働者が安全で、安心して仕事に打ち込むことのできる労働災害のない職場を目指していただくようお願い申し上げます。

最後に、これから暑い時期をとりませんが熱中症予防対策を含む皆様方の職場での各種取組により、労働災害ゼロが達成されることを祈念しましてメッセージといたします。